

教育大綱関連事業の平成30年度の成果と取り組みの方向性について

◆幼児期の取り組み

子どもの健やかな成長に向けた切れ目のない支援を推進します (決算額: 13,367,913 千円)

<主な事業>

◎子育て支援施設管理運営事業 (ほいく課)

目的	幼稚園児等を対象とした送迎ステーションや、預ける理由を問わない託児施設などの管理運営を行います。			
手段・手法	・指定管理者制度を活用し、管理・運営を行います。			
H30年度の 実績(成果) 等	指標	送迎ステーション事業の 実績利用人数(月平均)	託児事業の 実績延べ人数	H29 決算
	予定 (目標)	18 人	2,548 人	15,948 千円
	実績	15 人	2,746 人	H30 予算現額
				54,085 千円
	<p>・平成 30 年4月、中央林間東急スクエア内に、幼稚園児等を預かる「送迎ステーション事業」、理由に関わらず預けることが可能な「託児事業」、保育士等による無料の子育て相談が可能な「子育て相談事業」を行う子育て支援施設を開設しました。</p> <p>【利用実績】</p> <p>送迎ステーション(月平均) 15 人</p> <p>託児室(延べ人数) 2,746 人</p> <p>子育て相談(延べ人数) 39 人</p>			H30 決算
				53,545 千円
				H31 予算
				53,755 千円
R1 年度の取 り組み	・指定管理者と連携し、利用率の向上及び各事業の充実が図られるよう努めていきます。			R2 実施計画 (概算)
R2 年度の 方向性	・指定管理者と連携し、利用率の向上及び各事業の充実が図られるよう努めていきます。			53,755 千円

◆義務教育期の取り組み

夢や目標に向かってたくましく生きる子どもを育てます

(決算額:1,323,731 千円)

<主な事業>

◎特別支援教育推進事業（指導室）

目的	教育上配慮を要する児童生徒に対し、教育的ニーズに応じたきめ細やかな支援を行うことにより、特別支援教育の充実を図ります。				
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校を対象に、必要に応じて特別支援教育ヘルパーを配置します。 ・小中学校を対象に、特別支援教育スクールアシスタントを配置します。 ・大和市特別支援教育巡回相談チームを各学校の要請を受け派遣します。 ・医療的ケアの必要な児童・生徒が在籍する学校に看護師を派遣します。 ・特別支援教育における専門的な研修の充実を図ります。 				
H30 年度の 実績（成果） 等	指標	特別支援教育ヘルパーの配置人数	特別支援教育スクールアシスタントの配置人数	特別支援教育巡回チームの派遣回数	特別支援学級新1年生に関する関係機関との連絡会
	予定（目標）	87人	36人	190回	10件
	実績	87人	36人	116回	9件
R1 年度の取 り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・林間学習センターを改修し、特別支援教育等の総合的な施設としての大和市特別支援教育センターの開設準備を行いました。 ・小中学校に特別支援教育ヘルパー及び特別支援教育スクールアシスタントを配置し、支援を必要とする児童生徒の介護や学習支援等にあたりました。 ・特別支援教育巡回相談チームを要請のあった小中学校に派遣し、保護者及び教職員を支援しました。 ・医療的ケアの必要な児童・生徒に対応するために、パイロット校1校に看護師を派遣しました。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・大和市特別支援教育センター「アンダンテ」を4月に開設しました。この「アンダンテ」を中心に、学校との「つながり」を大切にしながら、児童生徒や保護者への切れ目のない支援を推進します。 ・小中学校に特別支援教育ヘルパー及び特別支援教育スクールアシスタントを配置し、支援を必要とする児童生徒の介護や学習支援等にあたります。 ・特別支援教育巡回相談チームを要請のあった小中学校に派遣し、保護者及び教職員への支援を行います。 ・医療的ケアの必要な児童生徒への対応の充実を図るため、看護師を3校に派遣します。 ・経験の浅い教職員に対する特別支援教育の研修の充実を図ります。 				
R2 年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に関する専門性の高い機能を持つ大和市特別支援教育センター「アンダンテ」を中心に、学校との「つながり」を大切にしながら、児童生徒や保護者への切れ目のない支援を推進します。 ・小中学校に特別支援教育ヘルパー及び特別支援教育スクールアシスタントを配置し、支援を必要とする児童生徒の介護や学習支援等にあたります。 ・特別支援教育巡回相談チームを要請のあった小中学校に派遣し、保護者及び教職員への支援を行います。 ・医療的ケアの必要な児童生徒への対応の充実を図るため、看護師を派遣します。 ・経験の浅い教職員に対する特別支援教育の研修の充実を図ります。 				

H29 決算	80,772 千円
H30 予算現額	100,280 千円
H30 決算	96,378 千円
H31 予算	103,765 千円
R2 実施計画（概算）	108,000 千円

◎学力向上対策推進事業（指導室）

目的	児童生徒への学習支援を行うとともに、特に小学校の若手教員の指導力を養うことで、総合的に学力の向上を図ります。		
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において、「放課後寺子屋やまと」「夏休み寺子屋やまと」を開催し、児童の予習復習等の学習支援を行います。 ・中学校において「中学校寺子屋やまと」を開催し、授業中及び放課後の学習支援を行います。 ・中学校において長期休業中における学習支援を行います。 ・小学校教員の指導力向上のための支援を行います。 		
H30年度の実績(成果)等	指標	放課後寺子屋やまとの開催校	中学校寺子屋やまとの開催校
	予定(目標)	19校	9校
	実績	19校	9校
H30年度の実績(成果)等	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校全校において、放課後子ども教室の開催日時に合わせて学校の空き教室等を活用した「放課後寺子屋やまと」や「夏休み寺子屋やまと」を開催し、児童の学習支援を行いました。 ・中学校全校において、少人数指導非常勤講師(英語・数学)、学習支援コーディネーター、学習支援員による「中学校寺子屋やまと」や授業中の学習支援に加え、新たに長期休業中における学習支援も行いました。 ・指導主事が学校へ出向き、教職員に対して学校の研究や授業の指導などについて助言するとともに、経験の浅い小学校教員に対する指導を継続的に実施し、授業力の向上を図りました。 		
R1年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校全校において「放課後寺子屋やまと」「夏休み寺子屋やまと」を開催するとともに、利用児童が多い学校において学習支援員を増員します。 ・中学校全校において「中学校寺子屋やまと」や授業支援、長期休業中の学習支援を引き続き実施します。 ・指導主事が学校へ出向き、教職員に対して学校の研究や授業の指導などについて助言するとともに、経験の浅い小学校教員に対する指導を継続的に実施し、授業力の向上を図ります。 		
R2年度の方角性	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校全校において「放課後寺子屋やまと」「夏休み寺子屋やまと」を開催します。 ・中学校全校において「中学校寺子屋やまと」や授業支援、長期休業中の学習支援を引き続き実施します。 ・指導主事が学校へ出向き、教職員に対して学校の研究や授業の指導などについて助言するとともに、経験の浅い小学校教員に対する指導を継続的に実施し、授業力の向上を図ります。 		

H29 決算	129,199 千円
H30 予算現額	140,928 千円
H30 決算	137,790 千円
H31 予算	146,161 千円
R2 実施計画(概算)	146,000 千円

<主な事業>

◎小学校大規模改修事業（教育総務課）

目的	児童及び学校関係者の学校生活における教育環境の向上を図ります。		
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> 建設年度及び現在の状況を総合的に判断し、学校施設の改善や設備の新設・更新を行います。 文部科学省「学校施設環境改善交付金」の対象事業となるものについては、「施設整備計画」を策定し、整備を行います。 		
H30年度の 実績(成果) 等	指標	小学校大規模施設改修等の 整備・改善件数	施設整備計画
	予定 (目標)	17 件	1 件
	実績	15 件	1 件
	・市立小学校における老朽化した施設の整備・改善を行いました。 トイレ改修工事(個室化、体育館トイレ):北大和小ほか 10 校 ※全小学校の男子トイレ個室化が完了 体育館屋根及び照明設備改修工事 :大和東小、西鶴間小 外壁改修工事 :草柳小、西鶴間小		
R1年度の取 り組み	<ul style="list-style-type: none"> インターホン設置:全校 給水設備改修:下福田小 ・プール塗装改修:文ヶ岡小 プールろ過装置交換:林間小 ・プール受水槽改修:南林間小 体育館屋根及び照明設備改修:柳橋小、上和田小 外壁改修:福田小 ・受変電設備機器交換:南林間小 プールサイド架台改修:深見小 ・階段室天井材撤去:北大和小 		
	<ul style="list-style-type: none"> 防球ネット設置:下福田小 ・非常階段塗装:西鶴間小 給水設備改修:文ヶ岡小 ・プール塗装改修:福田小 プールろ過装置交換:桜丘小 ・プール受水槽改修:文ヶ岡小 体育館屋根及び照明設備改修:下福田小、文ヶ岡小 外壁改修:上和田小 ・校庭整備:柳橋小 防火シャッター改修:北大和小、林間小 		

H29 決算
465,797 千円
H30 予算現額
549,384 千円
H30 決算
358,879 千円
H31 予算
300,581 千円
R2 実施計画 (概算)
268,000 千円

◎中学校大規模改修事業（教育総務課）

目的	生徒及び学校関係者の学校生活における教育環境の向上を図ります。			
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> 建設年度及び現在の状況を総合的に判断し、学校施設の改善や設備の新設・更新を行います。 文部科学省「学校施設環境改善交付金」の対象事業となるものについては、「施設整備計画」を策定し、整備を行います。 			H29 決算
H30 年度の 実績(成果) 等	指標	中学校大規模施設改修等の 整備・改善件数	施設整備計画	220,746 千円
	予定 (目標)	8 件	1 件	H30 予算現額
	実績	8 件	1 件	386,727 千円
	・市立中学校における老朽化した施設の整備・改善を行いました。 トイレ改修工事 : 大和中ほか 6 校 ※全中学校の男子トイレ個室化が完了 防球ネット設置工事 : 下福田中 防犯カメラ設置工事 : 全校 給水設備改修工事 : 上和田中 校庭改修工事 : 渋谷中 体育館屋根及び照明設備改修工事 : 鶴間中			H30 決算
				310,567 千円
R1 年度の取 り組み	<ul style="list-style-type: none"> インターホン設置 : 全校 体育館屋根及び照明設備改修 : 引地台中 			H31 予算
R2 年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> 給水設備改修 : 南林間中 プールろ過装置交換 : 渋谷中 体育館照明設備改修 : 渋谷中 体育館屋根及び照明設備改修 : 上和田中 防火シャッター改修 : 上和田中 受変電設備機器交換 : 大和中 			85,789 千円
				R2 実施計画 (概算)
				131,000 千円

<主な事業>

◎いじめ等対策事業（指導室）

目的	市立小中学校におけるいじめの撲滅を目指すとともに、子どもたちが安心して学校生活を送れるような学校づくりに取り組みます。			
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止を学校指導者・地域で考え、行動に移せるよう教育フォーラムを開催します。 学級の状態や個人の成長の様子を客観的に把握し、より良い集団づくりやいじめ・不登校の防止に役立てるために学級集団アセスメントテストを実施します。 児童支援中核教諭に伴う非常勤講師を配置します。 全小中学校に対して児童・生徒指導研修会(訪問研修)を実施します。 スマートフォン用の匿名報告・相談アプリケーションを市内全生徒が利用できる環境を整備します。 			
H30 年度の 実績(成果) 等	指標	リーフレットの 配布枚数	フォーラムの 開催回数	スマートフォン用 アプリケーション 登録率
	予定 (目標)	4,500 枚	1 回	8%
	実績	4,500 枚	1 回	6.58%
	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン用の匿名報告・相談アプリケーション「STOP it」を導入し、市内全生徒が利用できる環境を整備しました。 全小学校において指導体制の充実を図るため、児童支援中核教諭を校内から選任し、その授業代替要員として非常勤講師を配置しました。 大和市のいじめ防止基本方針に基づき、いじめ問題対策連絡協議会や、いじめ問題対策調査会を定期的で開催しました。 学級集団アセスメントテスト及びテスト活用研修を実施しました。 			
R1 年度の取 り組み	<ul style="list-style-type: none"> いじめ・不登校の更なる減少を図るため、全小学校 5 年生及び全中学校 1 年生を対象に学級集団アセスメントテストを実施します。 全小学校において指導体制の充実を図るため、児童支援中核教諭を校内から選任し、その授業代替要員として非常勤講師を配置します。 大和市のいじめ防止基本方針に基づき、いじめ問題対策連絡協議会や、いじめ問題対策調査会を定期的で開催します。 学級集団アセスメントテスト実施後、学校が主体的かつ迅速に児童生徒への対応ができるような活動を進めるため、①中学校の生徒指導担当者と小学校の児童支援中核教諭、②市立小中学校の半分の学校を対象に研修会を実施します。 スマートフォン用の匿名報告・相談アプリケーション「STOP it」の運用を行うとともに市内全生徒への周知を図ります。 			
R2 年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> いじめ・不登校のさらなる減少を図るため、全小学校 5 年生及び全中学 1 年生を対象に学級集団アセスメントを実施します。 全小学校において指導体制の充実を図るため、児童支援中核教諭を校内から選任し、その授業代替要員として非常勤講師を配置します。 大和市のいじめ防止基本方針に基づき、いじめ問題対策連絡協議会や、いじめ問題対策調査会を定期的で開催します。 いじめ・不登校に関するフォーラムを開催します。 スマートフォン用の匿名報告・相談アプリケーション「STOP it」の運用を行うとともに市内全生徒への周知を図ります。 			

H29 決算	17,711 千円
H30 予算現額	22,114 千円
H30 決算	19,578 千円
H31 予算	20,610 千円
R2 実施計画 (概算)	20,300 千円

<主な事業>

◎英語教育推進事業（指導室）

目的	外国語を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、言語、文化について理解を深めるコミュニケーションの向上を図ります。			
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語活動を充実させるため、外国語の音声や基礎的な表現に慣れ親しむことを目的に、外国語を母語とする外国語活動指導助手を配置します。 ・中学校の英語指導を支援するため、外国人の英語指導助手が各中学校を巡回し、指導にあたります。 			
H30 年度の 実績(成果) 等	指標	外国語活動指導助手 派遣回数	英語指導助手 派遣回数	小学校英語学習 実施校数
	予定 (目標)	1,500 回	630 回	19 校
	実績	1,582 回	630 回	19 校
	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての中学校へ英語指導助手を派遣しました。 ・全ての小学校へ外国語活動指導助手を派遣しました。 5, 6 年生:年間 35 時間、3, 4 年生:年間 17 時間 1, 2 年生:年間 5 時間、特別支援級:年間 2 時間程度 ・中学校外国語教育、小学校外国語活動の充実に向けて、引き続き英語教育スーパーバイザー(英語教育 SV)を配置しました。 ・小学校外国語活動の充実に向けて、教員の授業力向上のため、専門的な企業のノウハウを活用しながら、全ての小学校において授業方法を指導するとともに実際の授業に対する評価を行いました。 ・夏休みにイングリッシュ・デイを開催しました。 			
R1 年度の取 り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての中学校へ英語指導助手を派遣します。 ・全ての小学校へ外国語活動指導助手を派遣します。 ・全ての小学校において短時間学習を行います。 ・中学校外国語教育、小学校外国語活動の充実に向けて、引き続き英語教育 SV を設置します。 ・夏休みにイングリッシュ・デイを開催します。 			
R2 年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校高学年の英語教科化に伴う授業時数の増加に対応するため、外国語活動指導助手の増員を図ります。 ・中学校へ英語指導助手を派遣します。 ・中学校外国語教育、小学校外国語活動の充実及び小学校英語の教科化への対応のため、引き続き英語教育 SV を設置します。 ・英語教育 SV を中心に英語教科化に伴う研修会を実施します。 ・短時間学習を行います。 ・夏休みにイングリッシュ・デイを開催します。 			

H29 決算
79,324 千円
H30 予算現額
87,804 千円
H30 決算
86,572 千円
H31 予算
40,345 千円
R2 実施計画 (概算)
40,300 千円

<主な事業>

◎教育用コンピュータ整備事業（教育研究所）

目的	教育の情報化を推進するため、コンピュータ機器等の整備と保守を行います。			
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校のコンピュータ教室等に設置した教育用コンピュータの保守管理を業者に委託します。 ・校務用及び教育用コンピュータを教員数や児童生徒数、及び活用方法により適正に配置、整備します。 			
H30 年度の 実績(成果) 等	指標	保守管理コンピュータ台数	校務用コンピュータ台数	教育用コンピュータ台数
	予定(目標)	3,517 台	1,130 台	2,387 台
	実績	3,544 台	1,130 台	2,414 台
	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校のコンピュータ教室等に設置した教育用コンピュータの保守管理を行います。 ・ICT 機器を有効活用するため、ICT 支援員を配置します。 ・校務用コンピュータの保守管理を行います。 			
R1 年度の取 り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校(1年生)の全クラスにプロジェクトを整備します。 ・小中学校のコンピュータ教室等に設置した教育用コンピュータ及び周辺機器の保守管理を行います。 ・ICT機器を有効活用するため、ICT支援員を配置します。 ・校務用コンピュータの保守管理を行います。 			
R2 年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校(2年生)の全クラスにプロジェクトを整備します。 ・小中学校校内パソコン、LAN機器、タブレット型端末をリースします。 ・特別支援学級のタブレット型パソコンをリースします。 ・コンピュータの保守管理を行います。 ・ICT支援員の業務委託を行います。 			

H29 決算
243,591 千円
H30 予算現額
253,185 千円
H30 決算
252,617 千円
H31 予算
325,611 千円
R2 実施計画 (概算)
362,000 千円

◆ 幼児期～義務教育期～青年・成人期の取り組み

健康に関する教育を推進します

(決算額:350,111千円)

<主な事業>

◎母子保健相談指導事業(すくすく子育て課)

目的	安全な出産を迎えるために母体の健康管理を行うこと、出産後の健康管理や育児・健康面における情報提供や相談に対応することで、子育て家庭の支援を行います。				
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届を受理し、母子健康手帳を交付します。 ・妊娠・出産に向けた知識の普及啓発のための「プレママ・パパ教室」「イクメン講座」、乳幼児期の育児教育として「もぐもぐ教室」「おべんとう教室」「1歳児育児教室」を開催します。 ・2歳児歯科相談および育児相談を開催します。 ・1歳6か月児健康診査後のフォロー教室として「おやこ教室」を開催します。 ・子育て支援ツールとしてIT機能を充実します。 				
H30年度の 実績(成果) 等	指標	プレママ・パパ教室 イクメン講座 参加延べ数	もぐもぐ教室 参加者数	1歳児育児教室 参加利用者数	2歳児歯科相談 利用者数
	予定 (目標)	1,440人	560人	500人	400人
	実績	1,447人	585人	471人	236人
	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な妊婦の把握や保健師等の専門スタッフによる妊婦の相談対応のため、母子健康手帳の交付場所を平成30年4月に子育て何でも相談・応援センターに一元化し、妊娠届があった妊婦に母子健康手帳を交付しました。 ・育児支援として、各種啓発教室等の開催及びIT機能を充実させた子育て支援メールの配信、「赤ちゃんの駅」の周知を行いました。 プレママ・パパ教室:40回 イクメン講座:3回 もぐもぐ教室:28回 1歳児育児教室:12回 おべんとう教室:3回 2歳児歯科相談:12回 育児相談:48回 おやこ教室(発達面フォロー教室):24回 ・赤ちゃんの駅として、勤労福祉会館のトイレにおむつ交換台を設置しました。 				
R1年度の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健法に基づき、母子健康手帳の交付、母子の健康の普及啓発、情報提供、相談支援を行います。 ・各種啓発教室等を開催します。 プレママ・パパ教室:48回 イクメン講座:3回 もぐもぐ教室:24回 1歳児育児教室:12回 おべんとう教室:3回 2歳児歯科相談:12回 育児相談:48回 おやこ教室(発達面フォロー教室):24回 ・「らくらく予防接種」サイトの付加機能として、電子母子手帳、子育て何でも応援メール及び赤ちゃんまもるくんを運用します。 				
R2年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健法に基づき、母子健康手帳の交付、母子の健康の普及啓発、情報提供、相談支援を行います。 ・各種啓発教室等を開催します。 ・「らくらく予防接種」サイトの付加機能である、電子母子手帳、子育て何でも応援メール及び赤ちゃんまもるくんの運用について、より利用しやすい環境を整えるため、LINEによるメール配信等を導入します。 				

H29 決算	4,819千円
H30 予算現額	4,831千円
H30 決算	4,530千円
H31 予算	4,246千円
R2 実施計画 (概算)	4,900千円

<主な事業>

◎図書館管理運営事業 (図書・学び交流課)

目的	図書館の円滑な管理運営を行います。			
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を活用し、図書館の管理運営を行います。 図書館の運営に必要なインフラの管理をします。 中央林間図書館、渋谷図書館及び各学習センター図書室で必要とする消耗品等を計画的に調達します。 			
H30年度の実績(成果)等	指標	指定管理者との協議回数		H29 決算
	予定(目標)	24回		485,455 千円
	実績	23回		H30 予算現額
	<ul style="list-style-type: none"> 中央林間図書館を平成30年4月に開館し、大和市立図書館とともに指定管理者による管理運営を行いました。 平成30年度の来館者数は、大和市立図書館が入る文化創造拠点シリウスは約317万9千人、中央林間図書館は約87万人、渋谷図書館は約16万4千人となりました。 渋谷学習センター図書室が平成30年4月に渋谷図書館となり、指定管理者制度への移行に向けた準備を始めました。 			533,631 千円
R1年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 大和市立図書館、中央林間図書館及び渋谷図書館を同一の指定管理者による運営とすることで、より効果的かつ効率的な運営に努めます。 			H30 決算
R2年度の方方向性	<ul style="list-style-type: none"> 大和市立図書館、中央林間図書館及び渋谷図書館を同一の指定管理者による運営とすることで、より効果的かつ効率的な運営に努めます。 			522,986 千円
				H31 予算
				565,670 千円
				R2 実施計画(概算)
				571,000 千円

<主な事業>

◎生涯学習センター管理運営事業（図書・学び交流課）

目的	生涯学習センターの円滑な管理運営を行います。			
手段・手法	・指定管理者による管理運営を行います。			
H30 年度の 実績(成果) 等	指標	指定管理者との協議回数		H29 決算
	予定 (目標)	12 回		138,310 千円
	実績	12 回		H30 予算現額
	・市民交流拠点ポラリス(北部文化・スポーツ・子育てセンター)の開設に向けた準備作業を行い、平成 30 年 8 月に開館しました。 ・指定管理者制度を活用し、生涯学習センター及び市民交流拠点ポラリスの管理運営を行いました。 ・地区館(つきみ野・桜丘・渋谷学習センター)の指定管理者の選定を行いました。			290,207 千円
R1 年度の 取り組み	・学習センター5館(生涯学習センター・ポラリス・つきみ野・桜丘・渋谷)を同一の指定管理者による運営とすることで、より効果的かつ効率的な運営に努めます。			H30 決算
R2 年度の 方向性	・学習センター5館(生涯学習センター・ポラリス・つきみ野・桜丘・渋谷)を同一の指定管理者による運営とすることで、より効果的かつ効率的な運営に努めます。			283,339 千円
				H31 予算
				407,237 千円
				R2 実施計画 (概算)
				388,300 千円